

# 看護福祉学部福祉マネジメント学科 総合型選抜

総合型選抜 課題レポート

## 課題レポート問題

問題 次の文章を読み、あなたの考えを1,200字以内で述べなさい。

新型コロナウイルス禍で生活困窮や自殺、ひきこもりなど、孤独・孤立問題が深刻化している。政府が2万人を対象にした初の全国実態調査で孤独感が「ある」と答えた人は約4割に上った。

常に孤独を抱えている人は、4.5%で、年代別では30代が7.9%、20代が7.7%と高く、多くの若者が孤独を感じている。

その中にはオンライン授業ばかりで友人ができず、帰省もままならず孤独感を深めた人もいよう。

孤独や孤立は、誰にでも起こり得る。心の健康が損なわれ、自殺に至るケースもある。

これまで高齢者の「孤独死」などが社会問題になってきたが、孤独は若い人も少なからず感じていることに注目したい。

国や自治体はSOSを迅速にすくい上げ、支援につなげていく仕組みづくりが急務だ。

調査結果からは失業中や派遣社員など、世帯収入が低い人ほど孤独感のある傾向が見られた。

だが、「しばしば・常に孤独を感じる」とした人のうち、8割以上が行政やNPOから支援を受けていないと回答した。

コロナ禍による雇用情勢の悪化で特に女性の非正規労働者やひとり親世帯などに影響が出ている。

経済的に追い込まれると、心のゆとりが失われ、社会への疎外感を強めることもある。孤独や孤立を招く生活困窮者への対応を急ぎ、必要な支援を届けたい。

政府は孤独・孤立対策の重点計画を昨年末に取りまとめた。24時間相談体制の整備、地域での交流や居場所づくりを盛り込んだ。

実態調査の結果を詳細に分析し、さらに政策を充実させ、実効性を高めることが必要である。

対策は複数の役所にまたがるものが多く、縦割りの弊害をなくし、官民の連携を進めたい。

菅義偉前政権の下で英国を参考に昨年2月に担当相が置かれ、現在の野田聖子氏で2人目になる。ただ、行動は乏しく、国民への発信力をもっと高めるべきだ。

今後、高齢者が全人口に占める割合はさらに増える。医療や介護の供給不足、孤立の急増など深刻な課題が突き付けられている。

従来の見守りや交流の場を強化し、「つながり」の実感できる地域づくりが欠かせない。

孤独を感じる人は社会とのつながりが途絶えがちだ。福祉の支援や近所付き合いを自ら拒む「セルフネグレクト」（自己放任）の状態に陥っていく人もおり、きちんと目配りすることが大切だ。